

チャペル週報

No.14

2015.7.6 ~ 7.20

疲れた者、重荷を負う者は、
だれでもわたしのもとに来なさい。
休ませてあげよう。

(マタイによる福音書11章28節)



ランバス記念礼拝堂前

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

7月6日(月)	神 人 聖和 理	〈説教学演習A〉中道 祐太 (神学研究科M2) 舟木 謙 (宗教主事) 金大賢 (在日大韓基督教会南港伝道所牧師) 聖書物語 ダビデ 前川 裕 (宗教主事)
7月7日(火)	神 文 社 法 経 商 国 聖和 理 総	東島 勇人 (日本キリスト教団兵庫松本通教会牧師) 森田 雅也 (文学部教授) 真理と出会う④ 森 康俊 (社会学部教授) 「体のともし火は目である」 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事) 舟木 謙 (宗教主事) 福島 旭 (中学部宗教主事) 音楽チャペル バロックアンサンブル Christian Morimoto Hermansen (法学部・宣教師) 加藤 知 (理工学部長) 西立野 修平 (国際政策学科専任講師)
7月8日(水)	神 法 経 商 人 国 聖和 理 総	嵯峨根 克人 (法人部次長・秘書課長) 瞑想 悪からお救いください Christian Hermansen (宣教師) English Music Chapel Timothy Dale Boyle (missionary) 祈りのたて琴 Carol Sack (日本福音ルーテル教会宣教師) 榮 巖 (神学研究科M2) 丸 楠 恭一 (国際学部教授・副学部長) Ruth M. Grubel (院長) 前川 裕 (宗教主事) 村瀬 義史 (宗教主事)
7月9日(木)	神 文 社 法 経 商 国 聖和 理 総	〈キリスト教音楽に触れよう②〉水野 隆一 (神学部教授) 音楽チャペル Clock Tower Gang & Sing Elections 真理と出会う⑤ 岡田 弥生 (社会学部教授) Christian Hermansen (宣教師) 小川 晃司 (宗教活動委員会委員長) 山本 俊正 (宗教主事) Eun Ja Lee (宣教師) 聖和JAZZ礼拝 竹中 真 (ジャズピアニスト) 本田 盛 (総合政策学科教授)
7月10日(金)	院 神 文 経 人 聖和 理	Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事) 「震災を覚えて」礼拝⑨ 神学部メガホンプロジェクト English Chapel Andreas Rusterholz (chaplain) 「経済と人間②(最終回)」藤原 憲二 (経済学部教授) 音楽チャペル クラシックギタークラブ スーパーポジティブなネコ 小見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事) ALL 讃美歌プログラム (1)
7月13日(月)	神 経 人 聖和 理	〈説教学演習A〉中島 爽 (神学研究科M1) 舟木 謙 (宗教主事) 出会い⑨ 松岡 克尚 (人間福祉学部教授) 聖書物語 ソロモン王 ALL 讃美歌プログラム (2)
7月14日(火)	神 文 社 法 経 商 国 聖和 理 総	礼拝学演習 春学期終了チャペルパーティー 学期末にあたって 荻野 昌弘 (社会学部長) アカペラカルテット演奏 New Directions 広瀬 康夫 (グリークラブ技術顧問) 学期末を迎えて 田中 敦 (経済学部長) 小谷 正登 (教職教育研究センター教授) 平林 孝裕 (宗教主事) 山本 健治 (教育学部教授) ALL 讃美歌プログラム (3) フラサークル Mahalo
7月15日(水)	神 法 経 商 人 国 聖和 理 総	ミリスチャペル “Mastery for Service” 土井 健司 (神学部長) For yours is the kingdom Christian Hermansen (missionary) English Music Chapel Timothy Dale Boyle (missionary) 山本 俊正 (宗教主事) 室田 保夫 (人間福祉学部長) 平林 孝裕 (宗教主事) 岡本 哲雄 (教育学部教授) ALL 讃美歌プログラム (4) 村瀬 義史 (宗教主事)

夏休みの前に

川 村 暁 雄

2年前から人権教育研究室の室長として関わってきた「関西学院大学ハラスメント防止規程」がそろそろまとまってきました。うまくいけば、10月には決定し、来年度からはハラスメント相談センターができるかもしれません。

この規程が成立すれば、性的指向や性自認、人種や国籍などに基づく不当な発言や行動によって、学習・研究・学生活動などがつらくなった時に、相談に行くことができる窓口が生まれることとなります。もちろん、実際にはなかなか行きにくいこともあるだろうけれど、大学としてどういう行動が「よくないこと」なのかをはっきり示すということは、それなりに意味があることだと思います。

通常、こうしたルールができた場合、腑に落ちる人と、納得できない（あるいは関心がない）人と両方生まれます。ただ、ルールはルールなので、納得できなかったり関心がなかったりする人も、ルール違反を咎められたくはないからある程度は守るでしょう。

でもルールだから守る、というだけで終われば、少し残念です。多様性を受け入れることは、本人にとっても世界が広がりますし、いろんな発想や力につながっていくことだと思うからです。まあ、「奉仕のための練達」をモットーとする関学の教育なので、多様性を受け入れる人も決して少なくはないことでしょう。

さはさりながら、多様性を受け入れるためには、実際にいろんな人に出会うことが一番です。でも大学の教育だけでは本当に多様な人々に出会う場は十分ではないかもしれません。ということで、夏休みです。大学を卒業し、仕事に追われるようになれば、こんなに長期間休むことはできなくなります。学生の皆さんは、この機会に学生でなくてはできないことをいろいろチャレンジしてみたいいかがでしょう？円安で少し行きにくくなっていますが、この機会に海外に行くのもよいでしょう。国境、民族、言葉などさまざまな壁を越えて、同世代の人たちと簡単に仲良くなることができるのは、若者のみの特権でもあります。バイトで稼ぐのも必要でしょうが、やはり今の時間は相当貴重なはず。人生で4回しかない（かもしれない）大学の夏休みのその一回、ぜひ大切に過ごしていただければと思います。

(人間福祉学部教授)

7月16日(木) 聖和 Beautiful Names 田 淵 結 (教育学部宗教主事)

7月20日(月) 聖和 聖書物語 ヨナ

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:00～8:20 ランバス記念礼拝堂(上ケ原)
7月10日(金) 高大接続センターのために 北 原 和 明 (高大接続センター長)

●大学主催春季人権問題講演会 「ハンセン病～今、私たちにできること～」

2001年ハンセン病国家賠償訴訟で国は控訴を断念、長年にわたり「らい予防法」の法律の下、入所者に隔離生活を強いてきたことを謝罪しました。その後、入所者は奪われた人生、自由を取り戻すことができたのでしょうか。ハンセン病をテーマに、社会に残る根強い差別や偏見に対して、また隔離の歴史を風化させないために、今私たちができることは何か一緒に考えてみませんか。

と き：7月8日(水)11:10～12:40

ところ：社会学部101号教室(西宮上ヶ原キャンパス)

講 師：金 正美氏(字幕制作ディレクター・エッセイスト)

主 催：関西学院大学

*手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405教室)

7月主題：「学期末を迎えて」

7月9日(木) 舟木 譲(大学宗教主事)

7月16日(木) Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

●タベの祈りatランパス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごすタベの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第4回 10月1日(木)18:30～20:00

ところ：ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催：タベの祈り準備会(学生有志)

協 力：関西学院宗教活動委員会

●関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち49人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランパス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き：10月3日(土)10時～16時

ところ：ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)

指導者：太宰 まり、能島 亜未、坂倉 朗子、西山 聡子

主 催：宗教センター

●オルガン音楽の泉 2015 Fall Semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

第5回 10月9日(金) 西山 聡子(本学オルガン講師)

第6回 10月21日(水) 高橋 明子(聖公会川口基督教会オルガニスト長)

第7回 11月19日(木) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

第8回 12月4日(金) 太宰 まり(関西学院オルガニスト)

12時50分～13時20分(12時40分開場予定)

ところ：関西学院中央講堂

問合せ：宗教センター

●ランパスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月19日(月)ゴスペルクワイア"P.O.V." &ハンドベルクワイアによる音楽チャペル

11月16日(月)聖歌隊&バロックアンサンブルによる音楽チャペル

ランパス記念礼拝堂(上ヶ原) 10:35～11:05

春学期の「チャペル週報」は本号が最終号となります。授業期間中毎週月曜日発行の本紙には、各学部のチャペルスケジュールほか、教職員によるエッセイなどを掲載しています。この欄は執筆者のお人柄や読者へのメッセージに触れることが出来る場です。各学部のチャペルとともに、あなたの心に何かを残すことができれば幸いです。

秋学期の発行は9月21日(月)からです。よい夏休みを!